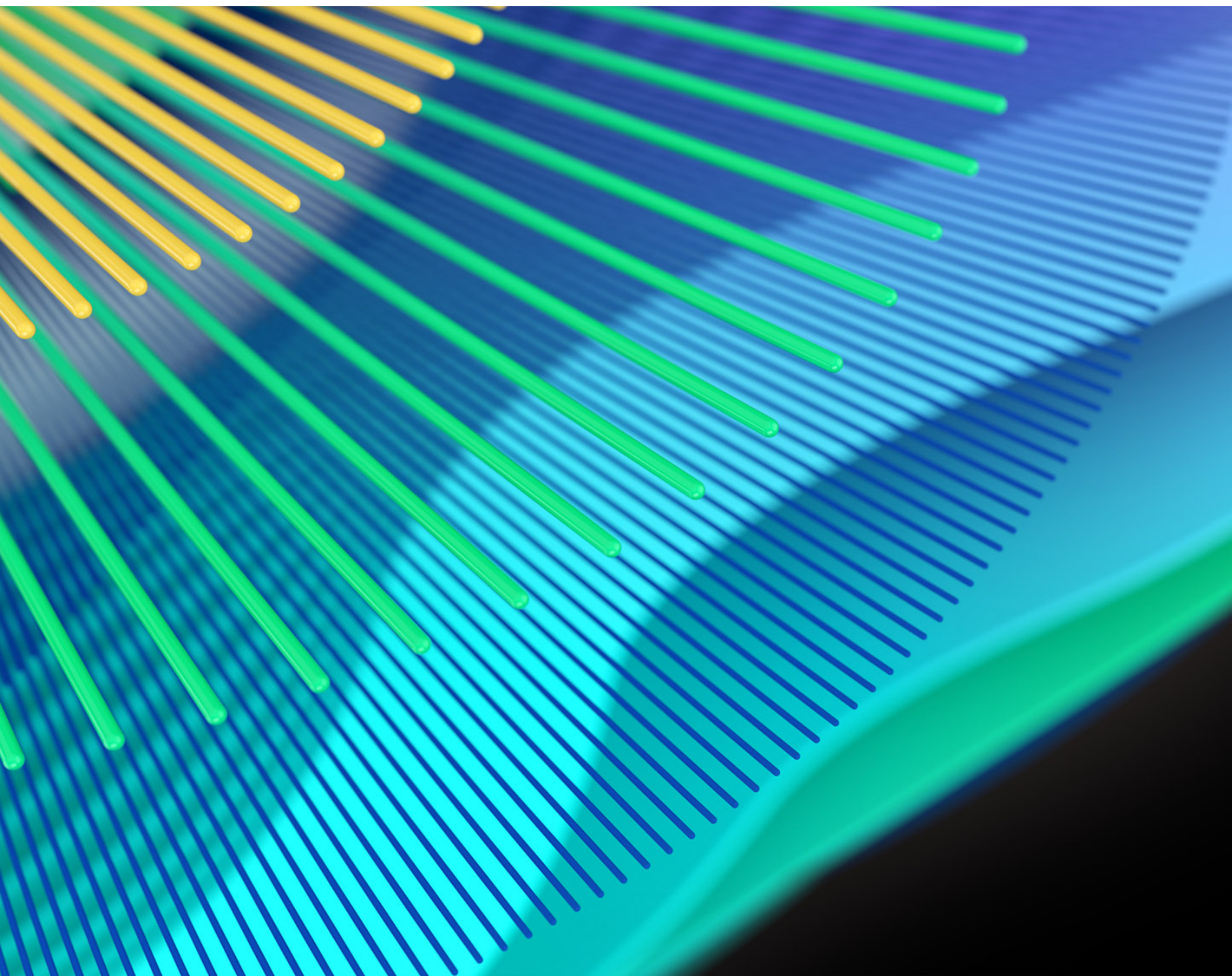


*ScholarOne Manuscripts* リリースノート

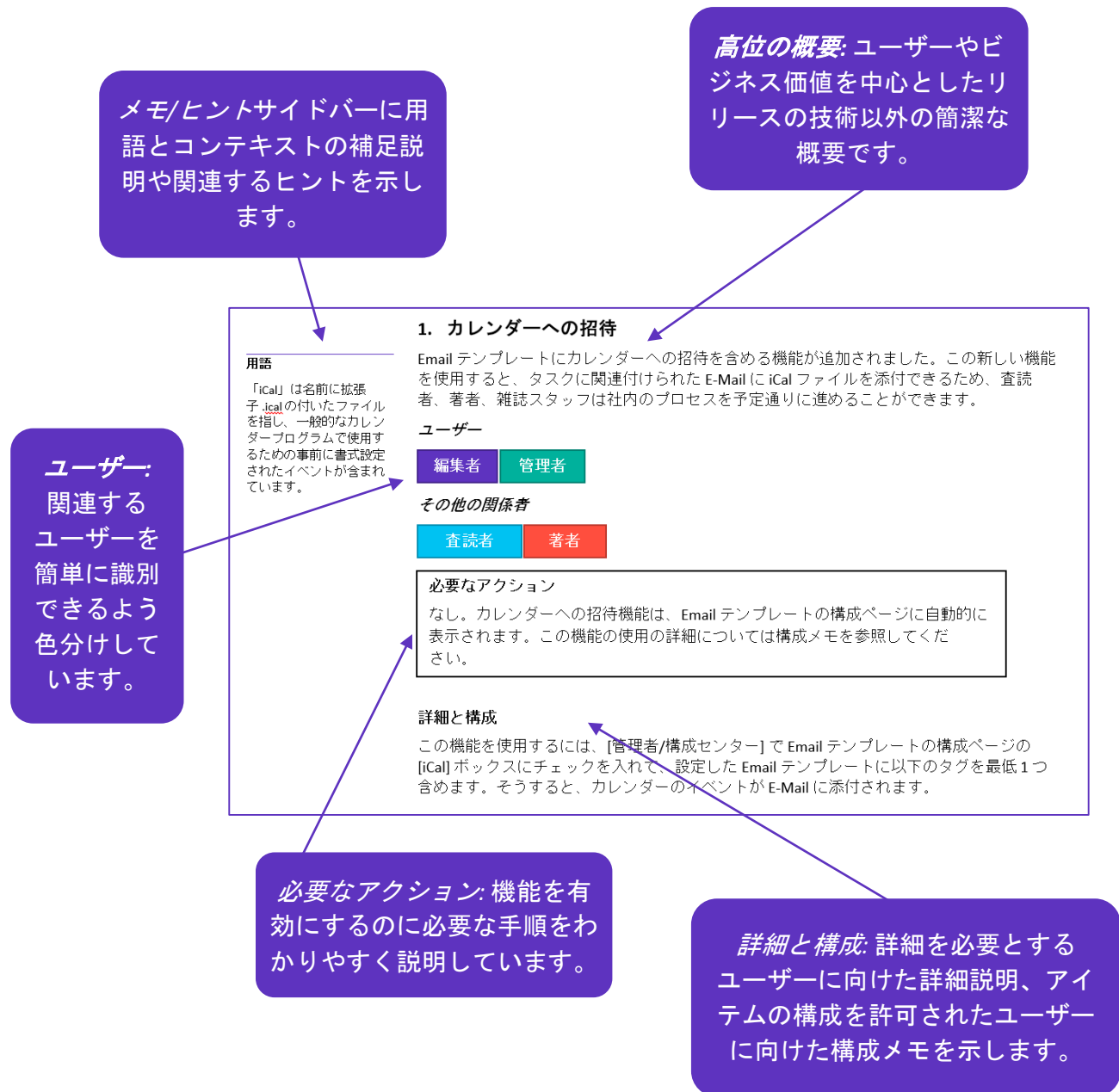
# リリース v4.26

2019 年 11 月



## 新しい書式の紹介

v4.25.1 リリースでは、新しいテンプレート、スタイル、タグ、および製品アップデートの通知方法について説明します。以下の新しいリリースノートの書式のサンプルをご覧ください。ご感想やご意見を [S1updates@clarivate.com](mailto:S1updates@clarivate.com) までお寄せください。



## 概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。ユーザーが新しい機能を利用する場合、管理者または ScholarOne の担当者が有効にする必要がある機能もあります。許可や構成に関するご質問は、サポートチームにお問い合わせください。

ワークフローの変更は影響するすべてのユーザーに伝えてください。

このリリースに記載された事項に関するご質問は、ScholarOne 製品サポート ([s1help@clarivate.com](mailto:s1help@clarivate.com)) にお問い合わせください。

## 内容

1. [著者リストの変更をロック](#)
2. [以前の共著者の追加の簡素化](#)
3. [文書分析ツールに追加された異常アクティビティ検出ウィジェット](#)
4. [Ringgold 所属機関更新の拡張機能](#)
5. [すべてのファイルを削除するオプション](#)
6. [転送の追跡に追加された新しい ID フィールド](#)
7. [RightsLink 統合でのプロモーションコードのサポート](#)
8. [ロール別のカスタム ORCID メッセージング](#)
9. [主な問題修正と機能の最適化](#)
10. [今後のリリース](#)

---

## リリース 4.26 で改善された機能

### 1. 著者リストの変更をロック

#### 著者の不正行為に関する追加事項

Web of Science Group では、学術記録の整合性の保護に誇りを持っており、この新たな形態の出版物詐欺を見つけていただいたチームに感謝します。詳しくは、[以下のブログをご覧ください](#)。

著者の権限を販売するサイトが最近公開されたことを受け、改訂時の著者リストの変更を無効にする新たな構成オプションが追加されました。この機能を有効にすると、著者は共著者を追加、編集、削除することができなくなります。代わりに、次のメッセージが表示されます。「このジャーナルは、著者リストへの変更のロックを選択しました。著者リストの変更については、管理者にお問い合わせください。」

ユーザー

管理者

以下にも影響します

### 著者

#### 必要なアクション

この機能はデフォルトで無効に設定されており、クライアント構成センターで、または ScholarOne 製品サポートに連絡して有効にできます。

#### 詳細と構成

クライアント構成センターへのアクセス権限を持つユーザーは、[投稿構成] > [修正 / 再投稿情報] でこの機能を有効にできます。

##### 修正/再投稿情報

☒ 修正では、変更防止のために著者のリストをロックします

チェックボックスをオンにすると、以下を行うことで、著者の修正/再投稿プロセスが更新されます。

- 著者を追加するための検索バーの削除。代わりに、次のメッセージが表示されます。「このジャーナルは、著者リストへの変更のロックを選択しました。著者リストの変更については、管理者にお問い合わせください」
- 既存の著者の編集オプションの削除（編集を使用する完全置換の防止）
- 新しい[最近の共著者]セクションの削除（以下を参照）

[修正/再投稿情報] セクションは、このパラメーターのみを対象とする投稿グループになります。

次の機能は変更されません。

- 修正を編集する管理者は必要に応じて引き続き著者リストの管理が可能
- 管理者はプロキシ時に引き続き著者の変更が可能
- 管理者は引き続き「この情報を編集」機能を使用可能

## 2. 以前の共著者の追加の簡素化

このリリースでは、[最近の共著者]セクションが著者 / 所属機関ステップに追加されるため、過去3年間に論文に追加した共著者を投稿者が検索する際に役立ちます。そのため、投稿者が頻繁に作業する著者を追加するプロセスが簡素化され、投稿プロセスが迅速化されます。

ユーザー

### 著者

#### 必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入され、デフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、以下の詳細セクションをご覧ください。

#### メモ

ユーザーが（GDPR ポリシーに準拠して）自分の情報をシステムから削除した場合はこのセクションに表示されません。



## 詳細と構成

この機能はデフォルトでオンになっていますが、構成実行者が[投稿構成]の[著者]セクションで「最近の共著者検索を表示」の横にあるボックスをオフにすると無効にできます。  
注：この機能は、同じジャーナル上で、あるいは共有ポータル内のジャーナルから行われた投稿から、過去3年間の以前の共著者のみを取得します。

Your Recent Co-Authors [Edit](#)

Search:

AUTHOR	E-MAIL	INSTITUTION	
Alytic, Ann	<a href="mailto:ann@clarivate.com">ann@clarivate.com</a>	1500 Spring Garden Drive Philadelphia, PA 19130	<a href="#">+ Add Author</a>
Ivate, Claire	<a href="mailto:claire@clarivate.com">claire@clarivate.com</a>	1500 Spring Garden Drive Philadelphia, PA 19130	<a href="#">- Remove Author</a>

Items per page: 5
1 - 2 of 2

< >

## 3. 文書分析ツールに追加された異常アクティビティ検出ウィジェット

異常アクティビティ検出（UAD）アラートが、新しい一意のウィジェットとして文書分析ツールに追加されました。これにより、新しい文書分析機能を使用して投稿に関する決定を通知する際に、ジャーナルスタッフに早期の警告が出されます。

ユーザー

編集者

管理者

### 必要なアクション

なし。UAD と文書分析の両方が有効になっている場合。UAD および文書分析ツールの活用方法については、*ScholarOne* 製品サポートにお問い合わせください。

## 詳細と構成

- リリース v4.25 で導入された文書分析では、著者や編集者に、AI ツールで検索されたキーセンテンス、キーワードなど、論文に関する追加の知識が提供されます。このツールでは、査読者に投稿を提供する前に論文/雑誌の適合性を確保できるため、投稿とピアレビューの時間が短縮されます。
- このリリースでのツールには新たに、異常アクティビティ検出（UAD）アラートが搭載されています。UAD アラートは、[論文詳細] セクションの下の以前の場所にも引き続き表示されます。
- ユーザー権限は変わりません。UAD アラートは、ユーザーのロール用に構成されている場合にのみ表示されます。
- UAD アラートは、「異常アクティビティなし」または「クリア済み」レポート（論文が手動でクリアされた場合）のいずれかについて緑色のアラートが表示される以外は以前と同じです。

#### 4. Ringgold 所属機関更新の拡張機能

著者とジャーナルスタッフのいずれも、アドレスの詳細を失うことなく、Ringgold 検証済みエントリに所属機関レコードを接続できるように、所属機関の変更プロセスを更新しました。この機能変更により、所属機関名がアカウントから削除されると、所属機関の住所/連絡先フィールドは第 1 の住所と第 2 の住所の両方に残ります。この変更在先立って、これらのフィールドは所属機関名の削除とともに削除されます。

ユーザー

**全て表**

##### 必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

##### ヒント

投稿プロセスを合理化する取り組みの一環として、アカウント作成に際して自分のジャーナルに必要なフィールドを検討するには今が良い機会かもしれません。ファックス番号は定期的に使用していますか？定期的に使用していない場合は、フィールドの削除を検討してください。

##### 詳細と構成

従来は、所属機関名がアカウントから削除されると、次のフィールドも削除されていました。

- タイトル
- 部署名
- 住所フィールド
- 部屋番号
- 国/地域
- 都道府県名
- 市区郡
- 郵便番号
- 電話番号
- ファックス番号

所属機関名が削除されても、上記のフィールドは入力されたままになります。

ただし、所属機関を選択して Ringgold に接続すると、国/地域、都道府県名、市区郡、および郵便番号は Ringgold 検証済みデータに入力されるため、これらのフィールドの既存データは置き換えられます。

#### 5. すべてのファイルを削除するオプション

投稿ポータルに [すべてのファイルを削除] ボタンが追加されたため、投稿ファイルを一括削除する必要があるユーザーには便利です。

ユーザー

**著者**

### 必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

### 詳細と構成

ユーザーは zip ファイルでアップロードすることが多く、その結果、多数のファイルが意図せずに投稿にロードされることが判明しました。この変更で、著者とプロキシされたジャーナルスタッフは、必要に応じて、すべてのファイルを一度に削除できます。これはステップ 2 に表示されます。投稿プロセスのファイルアップロード。

ファイル

0.02 / 97.66 MB

順序	操作	ファイル	* ファイルの指定	アップロードした日付	アップロードしたユーザー
1	選択	Research_Document.docx 15 KB	Main Document	2019-10-29	Lei Chen
2	選択	2019_Update.png 6 KB, 175 x 19 px	Figure	2019-10-29	Lei Chen

キャプション: Image Example

リンクテキスト:

順序の更新

すべてのファイルを削除

注：選択したファイルのみを削除する機能はまだ準備中です。現行オプションは、ファイルを 1 つ削除する、ファイルをすべて削除する、ファイルを削除しない、です。

## 6. 転送の追跡に追加された新しい ID フィールド

ScholarOne に新しい ID フィールドを追加して、複数のジャーナル間で渡される転送記事を発行者が追跡できるようにしました。この転送 ID は、このリリース以降、新しく作成されるすべての投稿に付加されます。

ユーザー

管理者

編集者

### 必要なアクション

なし。この機能は自動的に導入されます。

### 詳細と構成

論文のすべてのバージョンに同じ転送 ID が届きます。この ID はすべてのジャーナル転送を通じて論文を追跡するため、発行者は元の投稿から最終決定までの明確なパスを追跡できます。4.26 リリース現在での既存の論文は、転送 ID でバックフィルされません。リリース後に転送されるすべての論文は、送信サイトと受信サイトの両方の ID を受け取ります。転送 ID は 124 ビット GUID として表示され、このリリースの Cognos レポートおよび 2020 年初頭の ScholarOne API で使用できるようになります。

## 7. RightsLink 統合でのプロモーションコードのサポート

RightsLink との拡張統合の一環として、プロモーションコードのサポートを追加しました。RightsLink を使用して APC と決済処理を管理する ScholarOne ジャーナルは、著者が投稿時に入力または選択できるプロモーション割引コードを著者に提供できるようになりました。APC 合計請求額は、著者に対して見積り段階と決済段階で自動調整されます。論文のプロモーションコードは、管理者または編集者がチェックリスト段階で入力することもできます。

ユーザー

著者

管理者

編集者

### 必要なアクション

この機能は、ScholarOne / RightsLink 統合を使用するすべてのジャーナルで利用できます。デフォルトで無効になっていますが、クライアント構成センターで、または ScholarOne 製品サポートに連絡して設定することができます。注：プロモーションコードは RightsLink によって提供されます。以下で説明する構成を行う前にこれらのコードが必要になります。

### 詳細と構成

クライアント構成センターへのアクセス権限を持つユーザーは、カスタム質問として収集したフィールドを RightsLink API の [その他] フィールドと [additionalInfo] フィールドにマッピングして、[投稿構成] > [オープンアクセス構成] > [ScholarOne カスタム質問のマッピング] で機能を有効にできます。この構成は、クライアントが RightsLink からプロモーションコードを受け取り、カスタム質問の [回答テキスト] フィールドでプロモーションコードを使用するカスタム質問を ScholarOne で作成していることが前提条件です。これらの質問は、ユーザーがリストから 1 つ以上のコードの選択を求められるチェックボックス形式、あるいはユーザーが提供されたコードの入力を求められるテキストボックスのいずれかです。

設定する際は、[フィールドからのカスタムマップ] 選択ボックスから、プロモーションコードに関連付けられたカスタム質問を選択します。次に、[additionalInfo] を使用して追加ボタンをクリックして、構成済みのマッピング（テーブル）にカスタム質問を移動します。

**RightsLink API の「other」フィールドおよび「additionalInfo」フィールドへの ScholarOne カスタム質問のマッピング**

フィールドからのカスタムマッピング

構成済みのマッピング（テーブル）

(RightsLink フィールドとのマッピング)	RightsLink フィールド	(ScholarOne フィールドからの) マッピング	操作
promotionCode	additionalInfo	000 - S1M 管理者チェックリスト-査読用に匿名化	<input checked="" type="checkbox"/> 削除
000 - S1M Admin Checklist	other	000 - S1M 管理者チェックリスト-共著者	<input checked="" type="checkbox"/> 削除
000 - S1M Admin Checklist	other	000 - S1M 管理者チェックリスト-査読準備完了	<input checked="" type="checkbox"/> 削除



#### メモ

2019 年初頭、ScholarOne はユーザーが ORCID ID を自分の ScholarOne アカウントに接続できる機能を追加し、ORCID 資格情報を用いる簡単なログインを可能にしました。すべてのユーザーがこの新しい機能を利用することをお勧めします。

## 8. ロール別の ORCID メッセージング

著者と査読者に別々の ORCID メッセージングを送信する機能が追加されました。これにより、ジャーナルは、ORCID にサインアップする重要性と利点に関するさまざまなメッセージで、著者と査読者をターゲットにできます。ORCID を使用することで、ユーザーは ORCID ID のみを使用して複数のジャーナルにログインできます。

ユーザー

編集者

管理者

#### 必要なアクション

ORCID に関連する著者および査読者向けに別々のメッセージを作成する場合は、*ScholarOne* 製品サポートにお問い合わせください。

#### 詳細と構成

既存のリソース PERSON\_ORCID\_UPDATE\_DESCRIPTION に加え、ジャーナルは新しいリソース PERSON\_ORCID\_UPDATE\_DESCRIPTION\_REVIEW 向けのテキストを入力できるようになりました。

メッセージはデフォルトでは同じですが、サポートチームを介して変更できます。

## 主な問題修正と機能の最適化

#### メモ

ScholarOne では、ユーザーがプラットフォームを常に改善できるよう、次のリリースまでの間に多数のパッチとホットフィックスを提供しています。その多くは社内チームのプロセスの最適化を目的としているため、ワークフローには影響しません。これらの変更に関するご質問はサポートにお問い合わせください。

- **ORCID エラーメッセージ**
  - ユーザーアカウントの作成または編集時に、ORCID が必須フィールドであるというエラーメッセージが管理者に通知される問題を解決しました。
- **ハイパーリンク E-Mail の無効化**
  - ハイパーリンク E-Mail テンプレートの [アクティブ] ボックスのチェックを外してから保存すると、テンプレートの非アクティブ化に失敗する問題を修正しました。ボックスのチェックを外して保存すると、テンプレートが非アクティブになります。
- **Code Ocean 統合開発**
  - v4.26 の舞台裏で、ScholarOne は Code Ocean との統合基盤を構築しました。この統合は 4.26.1、2020 年第 1 四半期に予定されています。

## 今後のリリース

リリース日は変更されることがあります。

- **UAD ローカリゼーションの改善**
  - 異常アクティビティ検知 (UAD) レポートとポップアップは、ユーザーがサイトに対して選択した言語と一致するようになりました。言語を切り替えると、UAD レポートコピーが更新されます。
  - おおよそのリリース日 : 2020 年第 2/3 四半期
- **著者および査読者センターのページネーション**
  - 著者と査読者センターキューにページネーションを追加する企画で、多作ユーザーはバックログを簡単にナビゲートできるようにします。
  - おおよそのリリース日 : v4.26.1、2020 年第 1 四半期
- **Code Ocean 統合**
  - このすばらしい統合で、研究者が再現性のベストプラクティスを遵守する際の障壁が低くなります。Code Ocean の詳細については、<https://codeocean.com/> をご覧ください。
  - おおよそのリリース日 : v4.26.1、2020 年第 1 四半期

## 詳細のお問い合わせ先

ScholarOne 製品サポート  
[s1help@clarivate.com](mailto:s1help@clarivate.com)

電話番号: 888 503 1050 (米国) または  
0800 328 8044 (英国)  
月曜日午前 12:00～金曜日午後 8:30 (東部標準時)

[webofsciencegroup.com](http://webofsciencegroup.com)

## Web of Science Group について

Clarivate Analytics の Web of Science Group が管理する世界の研究情報は、研究を加速するために多様な学界、企業、出版社、政府に利用されています。また、そのために出版社に中立な世界最大のサイテーションインデックスとリサーチインテリジェンスのプラットフォームである Web of Science が活用されています。そのほかにも、*Converis*、*EndNote*、*Kopernio*、*Publons*、*ScholarOne*、*Institute for Scientific Information (ISI)*などの有名ブランドを提供しています。Web of Science Group の「大学」である ISI はインデックス、関連情報、分析コンテンツ、サービスを構築する基盤となるナレッジコーパスを管理し、イベント、会議、出版物を通して外部にその知識を広め、調査を実施してナレッジベースの維持、拡張、改善に努めています。詳細については [webofsciencegroup.com](http://webofsciencegroup.com) をご覧ください。

© 2019 Clarivate Analytics. All rights reserved. Clarivate Analytics から書面で事前に同意を得ずに構成などの手段によって Clarivate Analytics のコンテンツを再発行または再配布することは禁止されています。Web of Science Group とそのロゴ、および本文書で使用されている他のすべての商標はそれぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。